南みのわ
議会だより
No.95
平成23年11月1日発行
南箕輪村議会
発行責任者　議長　原　悟郎
編集　議会報編集委員会
〒399-4592　長野県上伊那郡南箕輪村4825-1
Tel.0265-72-2104 Fax.0265-73-9799

CONTENTS

●議会報告 ……2・3
●一般質問（質問順に掲載）…4～7
●議会活動 ……8

この議会だよりは、村のホームページからもご覧頂けます。

大芝湖に映る愛の鐘とイルミネーション（イルミネーションフェスティバル 10月1日～22日）

平成22年度 決算を認定

平成23年　第３回定例会

９月定例会は９月６日から16日までの日程で開かれました。
18議案はすべて原案のとおり可決。請願１件、陳情１件が提出され、継続審査２件となりました。

９月定例会で決まりました

	件　　名	賛成	反対	議決結果
条例関係	村税条例の一部改正 厳しい経済状況への対応、不申告の罰則引上げなど	8	0	可決
	森の交流施設設置条例 大芝高原味工房の南に新施設設置のため	8	0	可決
平成22年度決算関係（別表1）	一般会計歳入歳出決算の認定	8	0	認定
	介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	8	0	認定
	国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	8	0	認定
	後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	8	0	認定
	老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定	8	0	認定
	上水道事業会計決算の認定	8	0	認定
	下水道事業会計決算の認定	8	0	認定
平成23年度補正予算関係（別表2）	一般会計補正予算	8	0	可決
	介護保険特別会計補正予算	8	0	可決
	国民健康保険特別会計補正予算	8	0	可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算	8	0	可決
	下水道事業会計補正予算	8	0	可決
その他	土地改良事業の変更 当初計画に対し農地の大幅な受益面積の減少を踏まえた維持管理計画の変更のため	8	0	可決
	教育委員会委員の任命について 清水篤彦氏の任期により再任	全員同意		
	工事請負契約の締結 療育施設建設建築工事　入札結果 ：原建設株式会社　1億1004万円	8	0	可決
	村長専決処分事項の指定(注)	8	0	可決
請願	郵政改革法案の速やかな成立を求める請願 （総務文教委員会の審査結果は継続審査）			
陳情	拡大生産者責任（EPR）及びデポジット制度法制化を求める陳情 （経済厚生委員会の審査結果は継続審査）			

（別表1）　平成22年度決算

会　計　別	歳　入	歳　出
一　般　会　計	54億9760万円	49億6811万円
介護保険特別会計	6億9788万円	6億7032万円
国民健康保険特別会計	10億1323万円	10億　246万円
後期高齢者医療特別会計	8988万円	8797万円
老人保健医療特別会計	55万円	0万円
上水道事業会計	収　入	支　出
収　益　的	2億5361万円	2億3330万円
資　本　的	978万円	6947万円
下水道事業会計	収　入	支　出
収　益　的	4億8503万円	5億4352万円
資　本　的	3億1969万円	5億2740万円

（別表2）　平成23年度補正予算

会　計　別	補　正　額	補正後の総額
一般会計（第５号）	1億7063万円	56億9837万円
介護保険特別会計（第１号）	2706万円	7億4108万円
国民健康保険特別会計（第２号）	977万円	10億3080万円
後期高齢者医療特別会計（第１号）	191万円	9181万円
下水道事業会計（第２号）		
収益的収入	−3000万円	4億3641万円

（注）村長専決処分事項の指定
今件の説明：本来、地方自治法第96条第13号の規定により、損害賠償の額の決定は、議決事件となっています。また、同法第180条第1項の規定により、「議決を要する事項のうち軽易なものについては、専決処分できる」こととなっていますが、同条第2項では「専決処分したものは議会に報告しなければならない」と定めています。
　よって今回、同法第180条第1項の規定により、村長において「法律上村の義務に属する1件50万円以内の損害賠償の額を定め、これに伴う和解を行うこと。」を専決処分することができる事項を指定するもの。
　（損害賠償とは主に、村道上での自動車のタイヤパンクのような、村管理物の過失事故の賠償など）

平成23年第５回臨時会

第５回臨時会は、８月３日に開かれました。

●平成23年度一般会計補正予算（第３号）は、住宅用新エネルギー施設設置補助４００万円、東日本大震災支援コンサート補助40万円などを予備費から支出するもの。

（全員賛成）

平成23年第６回臨時会

第６回臨時会は、８月18日に開かれました。

●平成23年度一般会計補正予算（第４号）は、療育施設建設工事に２０００万円、同施設と西部保育園の太陽光発電設備設置工事に３６３０万円などを増額。環境省補助金に予備費を加えた差引により、総額１６６５万円を追加し、歳入歳出予算の総額を55億２７７４万１千円にするもの。

（全員賛成）

一　般　質　問　の　そ　の　後

平成23年６月定例会の一般質問のその後の経過（村から報告のあったもの）

質問者・質問内容	担当・対応
久保村義輝 ●防災、震災対策の強化について。	→**総務課**：新たな組織体制等の整備、大震災の教訓を活かした防災訓練、意識の高揚を図るため村自主防災連絡会を７月14日に開催した。備蓄品の足りない物は、９月補正および来年度当初予算等で計上する。
②公共施設と住宅の耐震化促進とガラス飛散防止策を。住宅リフォーム事業補助の拡充が必要ではないか。	→**建設水道課**：耐震診断対象となる住宅の調査方法について準備中。今年度中に把握の予定。耐震診断制度等の周知チラシを村報８月号に折込配布済み。９月に精密耐震診断実施者に耐震補強工事の実施を促す通知を予定。住宅リフォーム補助は７月にチラシ配布済み。 →**教育委員会**：村公民館と郷土館については今後どう利用するか方向を出し、利用を継続するなら耐震診断を実施する。
●原子力発電所事故への対応と今後のエネルギーのあり方について。①原発事故による放射能被災への対応は。学校、保育園への測定器配備が必要と思うが。	→**教育委員会**：学校、保育園それぞれ各施設ごと週１回測定し、結果をHPに公表している。学校のプール清掃については、業者に委託し実施済み（６月15～21日）。
山口守夫 ●震災対策について ③災害時の庁舎の補助電源は。	→**総務課**：③非常用電源について、事業内容、事業費を含めコンサル業務が必要となるため９月議会の補正予算に計上する。
⑤災害時に備えて備蓄されている物資はどのような物か。	⑤災害時の備蓄品の補充（毛布も含めて）は、９月補正予算に計上する。
⑨自主防災組織の充実のためにもっと支援をするべきでは。	⑨村自主防災連絡会を７月14日に開催した。
④文化財の保護は大丈夫か。	→**教育委員会**：経費をかけても今後利用する方向が出れば耐震診断を実施する。地区の神社等は所有者に耐震化をお願いする。
●節電対策について。村の公共施設の節電対策は。 ⑥LED照明に切り替えた家庭に一部補助は。	→**総務課**：トイレの手洗い場のLED化は発注済み。 →**住民福祉課**：今後の動向を見て検討する。
唐澤由江 ●役場職員体制について。非正規職員の名簿がないが。	→**総務課**：半年以上の長期臨時の切替が10月となるため、10月１日現在でできるよう準備する。できれば一般事務職の職員数で類似団体との職員比較を行う。
●子育て支援体制強化について。①「子育て教育支援相談室」のあり方は。療育施設が将来的に子育て支援を担う拠点になるよう体制整備を。	→**教育委員会**：横断的連携を図り、問題点を明らかにしながら成果が上がるよう努める。
加藤泰久 ●節電対策。電力不足による庁舎および村施設での取り組みは。また村民への協力要請は。 ●震災関連。企業への経済支援を。	→**総務課**：７月号の村報やケーブルテレビ番組で特集を組んだ。今後も引き続き番組等で啓発していく。 →**産業課**：８月か９月に産業振興懇談会（JA、開発公社も加わった事務局レベルの懇談会）を開催し、意見交換する。
丸山　豊 ●村の安心・安全対策について。①JAあじーな前の県道伊那箕輪線の横断歩道設置について。 ②県道伊那インター線駒美交差点から信大入口の交通安全対策について。	→**総務課**：伊那建設事務所との協議により、公安委員会に要望書を出した。
③大清水川の未改修部分の取り組みについて。	→**建設水道課**：６月末の要望個所現地調査で伊那建設事務所に要望済み。
●大芝村有林の取り組みと松くい虫対策について。⑤学校など公共施設、区、神社、お寺、個人が所有する松があり、松枯れ危機は共有しなければと考えるが。	→**産業課**：南箕輪小学校（11本）、南箕輪中学校（３本）の樹幹注入を実施したい。近く、殿村八幡宮の考えをお聞きしたい。
百瀬輝和 ●安心・安全な災害に強い村づくりのために。BCP策定の必要性。避難所の情報機器整備。	→**総務課**：先進地の事例を参考にしながら、はじめに被災者支援システムを整備していく。すでに西宮市からシステムの使用について承諾済み。しかし、この整備にはサーバーが新たに必要となるため９月補正予算計上する。また、システムを策定した後に、このシステムも含めBCP策定をしていく予定。
●大芝高原の利活用のために。農道東に多目的広場を。イベント（軽トラ市）駐車場利用可能を。	→**財務課**：当面はイベント時の小規模駐車場として利用し、将来的には隣接する土地の動向によって判断する。 →**産業課**：軽トラ市等の新たなイベントについて検討中。
山﨑文直 ●防災対策について。⑤地域防災計画に放射線対策も載せるべきだと思うが。	→**総務課**：県の防災計画の状況を見ながら検討する。
④S47年建設の大泉川砂防ダムの耐震性は調査されているか。	→**建設水道課**：伊那建設事務所に要望済み。県議会危機管理建設委員会へも要望済み。
都志今朝一 ●排水路の村移管について。黒川と畔（くろ）川排水路の村移管について。	→**建設水道課**：伊那土地改良区から理事長名で移管の要望書が提出され、移管の協議内容について検討中。改良区役員の交代もあり、近々に事務レベルで打合せを行う予定。

療育施設の開所に向けて保育園の環境整備を

唐澤由江

唐澤　療育施設について村直営か社協へ委託するのか。作業療法士・保育士等専門職を充実し、子育て相談員を中心として未就園児の指導や5園の巡回相談を担ってほしい。

村長　来年10月に開所する。当初社協への指定管理を視野に入れていたが、療育の拠点として位置づけ6つ目の保育園とする。未就園児も含め巡回相談は言語聴覚士・臨床心理士も入れて同じスタッフが継続的に支援していく。運営は責任を持てる体制をとるため、子育て支援単独課を設置する。

唐澤　保育園の統廃合を考えているか。改修は。

村長　定員増の579人が通園し統廃合は必要なし。改修は必要に応じて来年度以降南部保育園の増築が必要である。

男女共同参画推進を

唐澤　審議会や区役員への女性登用と職員の人事について。

村長　村は30%を目標のところ24%余であるが、まだまだ女性側の問題があり受けていただけない。課長9人中2人、係長30人中20人が女性である。適性を尊重し人事を心がけている。参画団体設立から9年が経ち村政懇談会等を実施していただいているが、今提案された公民館活動としてやっていくことは教育委員会で検討していただく。

介護保険通所の充実を

唐澤　介護保険利用者で社協への通所者はどの程度か。

村長　介護給付費の審査状況から推察すると5割程度。26%が村内の民間事業所。残りは近隣市町村の施設。

唐澤　社協はH5年に建設されその後増築を重ね体制を整えているが、通所へリハビリを加算し経営努力されたらいかがか。

村長　社協も一つの事業所である。民間の意見をお聞きし考えていく。

保育園で遊ぶ子どもたち

正規も臨時も一緒に図れる意識高揚を

小坂泰夫

小坂　大芝の開発公社営業部門は減収しているが管理者や正規職員の給与、人員数は適正か。さらに減収した場合、部門閉鎖も必要ではないか。

村長　公社は公的事業を行う財団法人で、住民の福祉増進のため大芝高原で公益的事業を行うのが目的。現在、正規職員9人でうち一人は村からの派遣、非正規は90人余が登録している。非正規雇用は時給で、正規職員は30代で月額20万円を少し超える水準で家族を養うのも大変な状況。設立の経緯や目的から大芝荘の閉鎖は考えられない。人員削減や効率的運営、食堂などできる部分の民間委託なども考えて、問題のない運営を考えていく。村から派遣している支配人も、将来的には検討が必要と感じる。

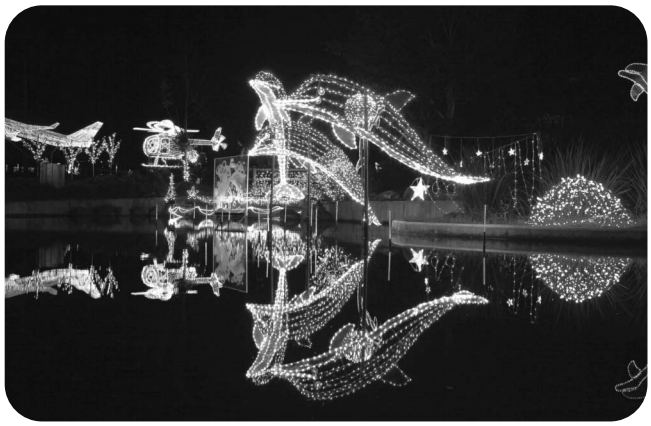
全職場で使える基準を導入すべき

小坂　村政運営にあたり、村長が参考にしているものはあるか。全職員が職務に臨むにあたり、意識高揚のため全職場で共通して使えるような判断基準はあるか。

村長　特別なものはない。村の指針は基本計画で、それを参考に、村長としての信念を曲げずにあたっている。職員にも常々こう訴えている。相手の立場に立ち一緒に支えていく。行政の仕事は全職員がすべて自分の仕事だと思え。国、県より住民に対してどうなのかを優先する。

小坂　村には人事評価制度の中に具体的な評価基準表がある。それを活用して正規職員だけでなく、保育士など増え続ける臨職も一緒に意識高揚を図る打合せ時間を設けてほしい。

村長　現場を抱える職場での打合せ時間は、今後とも積極的にとれるよう心がけていきたい。



住民や民間が大芝の売上げアップに貢献している中…

森林整備と間伐材等の利用推進は

加藤泰久

整備された里山

加藤　奥地林、里山の民有林、大芝村有林の現状と整備計画、将来的な治山治水、緑化について。

村長　飛地はすべて保安林で、森林整備計画では多くを水土保全林として長伐期施業の対象区域に指定している。２０１２ヘクタールのうち村有林の１４９ヘクタール以外は、県の治山治水事業で計画的に整備が進められている。

里山は県の補助事業に上乗せする形で間伐促進を図っている。大芝村有林は今年度、整備基本計画に沿ってマレット場北西４・７ヘクタールで間伐を実施する。

加藤　間伐材や地産材の利用、活用を推進する方針は。

村長　木材利用推進方針計画を策定し、大芝の間伐材を公共施設や遊歩道の整備に活用している。里山の間伐材活用を目的に、まきストーブ利用者らで「美森倶楽部（みもりくらぶ）」も設立した。

加藤　間伐する際の枝や小枝を処理する破砕機を購入したが、村民も使用を申し込みすれば使用できるのか。

産業課長　申し込みがあれば無料で貸し出している。

加藤　県民が５００円納めている県森林税の村の県森林税活用事業と交付金額は。

村長　里山整備、森林づくり推進支援金、木育推進の各事業で総額６００万円余の交付を受けた。

沢の河川が危ない

山口守夫

山口　村内に多数ある沢には崩壊箇所や崩壊しそうな箇所が目立つ。計画的な補修を行う必要があるが考えは。

村長　渇水期に破損箇所を点検し改修を行っている。今後空石積みになっている護岸箇所を調査し、改修を計画的に進めていきたい。

山口　県の管理河川の大泉川は、あし・ニセアカシア・ふじづるが繁茂し、川の体をなしていない。県に清掃・整備を強く要望すべきでは。

村長　環境的には問題だ。伊那建設事務所と年２回パトロール実施。環境美化を県に強く要望している。管理については、地域の皆さんにも深くかかわって頂きたい。

崩壊箇所が目立つ河川

雨水で被害が出ている

山口　最近の雨は、ゲリラ豪雨の印象が強い。村内は大きな被害にはなっていないが、車両通行不能な水たまり・路肩の崩壊・庭への流れ込み等苦情も寄せられている。被害が予想される箇所の対策を打つべきだ。

村長　村は宅地化が進んできている。雨水対策が追い付いていない。村内全域で排水対策を考えていく必要がある。専門のコンサルを入れながら計画し、策定づくりに取り組む。

山口　緊急時の通報システムと災害対応は。

村長　緊急対応は休日夜間に限らず、役場職員が対応できる体制ができている。

村表彰に目配りを

山口　要職に就かなくとも地域で頑張っている人もいるので、こうした人達を掘り起し感謝をし表彰すべきだ。

村長　目が行き届かない点もあり課題だった。これからは推薦制度などで来年度より取り上げていきたい。

地域防災計画の見直し作業について

山﨑文直

山﨑　計画見直しの進ちょく状況は、まとまった事項からその都度、加えると良いのでは。

村長　平成22年3月に全面改訂しているが、大地震、原発事故により国の中央防災会議、県の地域防災計画の見直しを受け改定案を23年度中に策定する。放射能関係は専門性が強いので、国県の基準が出来てから加える。

山﨑　特に要介護者などの避難方法、避難所での対処は。

村長　要介護者などの避難方法は重要。現在「災害時要援護者登録台帳」「被災者支援システム」を準備中。被災者や要援護者は現在約180人が登録済。民生委員の情報や自主防災会の協力を得ながら、防災時の安否確認を含めた人員の把握をし、秋から地域に自助共助を訴えていく。

現在9つの福祉施設と「災害時における要援護者の受け入れに関する協定」を交わしている。今後は要援護者支援の個別計画の策定を進める。

山﨑　大芝高原にユニバーサルデザイン（以下UD）を導入し、基礎調査をすべきでは。

村長　自然環境を守りながら健康と癒しの森として活用したい。最近の施設はUDを取り入れている。大芝高原はその都度、施設を作ってきた。それらの点を面的にどう結ぶかが重要で研究中。雨水排水対策も計画的に進め、老朽化した車止めなどの改修は24年度予算に反映させる。

山﨑　ササユリなどの群生地の保護育成を。

村長　多くの貴重な植物があり観光資源になる。違法な採取が心配で、植生保護を呼び掛ける看板設置を行う。熱心な保護団体との協働もしながら活用したい。基礎調査は検討する。

改良が求められる大芝高原

大芝村有林整備基本計画について

丸山　豊

こんなにある計画書・さて具体化は

丸山　大芝村有林の30％間伐・択伐と松くい虫被害木伐採との整合性は。

村長　森林の樹木を健全に育成するため間伐は必要施策。30％は森林整備の一定基準であり、国の補助基準に合致。大芝村有林の将来の被害が不明であるため、育林の観点から被害状況に応じた対応と基本計画の見直しも考慮する。大径木などを最小限度守りながら、より多様性に富んだ森づくりに努めていきたい。

丸山　村の貴重な財産である村有林の整備基本計画を説明した行政地区懇談会には何人出席したのか。

村長　316名で世帯数では6％である。区役員・組長を通じ一定程度理解を得たと考えるが、呼びかけても、なかなか出席してもらえず苦労した。議員の皆さんにも代弁者として協力願いたい。

大芝高原の観光行政は

丸山　権兵衛トンネル開通から5年間、大芝高原への利用者が減少中だが。

村長　経済状況により旅行等が手控えられている。旅行者には行政の境界はなく、大芝高原も周遊地ではあるが滞在よりも、高原・味工房・湯を利用する一つの立ち寄り場所で、利用者は近隣住民が多い。今後は体験型観光も重要で、みんなの森セラピーロードは活用度の高い観光資源となり得る要素がある。森の交流施設との組み合わせで新たな商品開発により新メニューを検討中である。

誘客行政の担当部署は

丸山　大芝高原の誘客に対する産業課と開発公社の役割分担は。

村長　大芝高原を含めて村全体の観光振興行政は産業課が担当し、開発公社は大芝荘などの諸施設を管理する。大芝高原への誘客は鉄道会社、旅行会社などへ働きかけている。

下水道事業の整備と運営について

都志今朝一

公共下水道浄化センター

都志　平成22年度で完了した下水道事業の宅内接続の現状はどうか。

村長　本村の下水道は平成22年度で、基盤整備が一年前倒しで完了した。これにより22年度末での普及率は96・8％、水洗化率は78・5％である。受益者負担金は納入済みであるが未接続の戸数が1172戸ある。さらなる接続推進のために、本年度より施行の住宅リフォーム補助金の活用を周知していくほか、戸別訪問等により接続のお願いをする。一人暮らしの高齢者には福祉部門と連携しながら推進をはかる。

公共下水道への農集排施設の統合について

都志　農業集落排水処理場いずみ苑と公共下水道の終末処理場の一本化の考えはあるか。

村長　農業集落排水南箕輪西部地区排水施設いずみ苑については、平成6年4月より供用を開始して17年経過しているので、現在は維持管理が課題となってきている。下水道事業の一層の改善が重要であり、農業集落排水事業を公共下水道事業と統合していく方針である。現在、国・県との協議中である。

県道吹上北殿線の改良計画について

都志　県道426号線の推進状況と今後の予定は。

村長　国道153号交差点から北殿公民館までの道路拡幅と歩道の設置の件は、昨年度より県単道路改良事業として用地買収が始まっている。現在の進ちょく状況は、関係者への用地買収および物件の移転補償の交渉中である。平成23年度中には、すべての関係者との契約を完了する予定で、24年度中には建築物等の移転を終え、25年度工事に着手し、同年度中の完成予定である。

学校教育、福祉医療について

百瀬輝和

中学1年生の授業風景

百瀬　県の事業で中学1年まで拡充した30人規模学級を、県がやめた場合は村独自で継続してほしいが。

村長　県がとりやめた場合は村としてしっかりと継続していく予定だ。

教育委員長　県にしっかりと働きかけていくが、県がとりやめた場合は村長答弁にあるように村として継続していく予定。

百瀬　村図書館の宅配サービスはできないか。

教育長　宅配の希望は今のところないが、希望があれば図書館協議会に諮りたいと考えている。

百瀬　中学3年、高校3年の受験生への、塾に行く貸付制度、助成制度ができないか。

教育委員長　村内中学生で塾に通うのは24％で今のところ考えていない。

百瀬　障害者、低所得者の福祉医療費の窓口払いをなくせないか。

村長　給付は県統一のシステムで独自対応は難しい。村の貸付制度があり、それを活用してほしい。

百瀬　子宮頸がんワクチン、検診対象外の18、19歳への助成を。

村長　ワクチンの供給状況などを見ながら拡大を検討する。村としてできることを考えていきたい。

百瀬　がん検診の受診率を上げる取り組みを。

村長　受診率をどのように上げられるか検討中。すこやか係をつくり取り組んでいる。

百瀬　校庭の芝化や、大芝高原グラウンドを人工芝にできないか。

村長　できればしていきたい。大芝陸上競技場の人工芝化は、財政面と多目的利用の面をどうクリアするか難しいが、できれば村に1か所は芝化したい。

教育委員長　芝化した先進例を調べて検討を始めている。

互いの違いから学ぶ…
辰野・箕輪議会との懇談会

9月28日、南箕輪村民センターにおいて、辰野町・箕輪町・当村の全議員による北部議員懇談会が行われた。

第1部では、2つの部会（第1部会は当村の総務文教委員会と2町の総務関係委員会、第2部会は当村の経済厚生委員会と2町の厚生関係委員会）に分かれ、それぞれの議会の現状発表を行い、質疑、意見交換が行われた。また両部会とも懇談の内容は議会基本条例や議会広報、住民への議会報告会などを共通のテーマとした。

研修の第2部では、大芝高原セラピーロードを元気にウォーキング

第1部会では、すでに条例を制定している辰野・箕輪から「理事者の反問権」が制定され試行が続いているとのこと。一般質問については、議会関係資料の配布時期や、他議員との質問の重複に関しての質問があり、辰野町は議員同士での話し合いを行い、箕輪町は質問項目をあらかじめ多めにして重複部分は控えることで対応しているなど実情も知ることができた。

第2部会では、議会基本条例の内容で注目したのが、「住民への議会報告会を開催する」ことや「本会議で首長の反問権」などの条文に対して話し合われた。

また、一般質問のテレビ放映や議会だよりの発行、各種団体との懇談会などについてもやり取りがなされ、有意義な懇談会であった。

・・・

わが村としては、両町議会の今後の状況に注目しながら、議会のさらなる活性化に活かしていきたい。

議会日誌（7月～10月の主なもの）

7月
- 25日●町村の議員研修会
- 27日●伊北環境組合議会
- 28日●国道361号改修促進期成同盟会総会
- 29日●2011上伊那非核平和行進来村

8月
- 3日●議会運営委員会
- ●議会全員協議会
- ●第5回臨時議会
- 4日●消防委員会
- 8日●議会全員協議会
- ●大芝高原まつりボランティア作業
- 9日●森林・林業・林産業活性化議員連盟総会
- 10日●みなみみのわふれあいの里・別邸みなみ竣式
- 17日●伊那中央病院増築説明
- ●北部議員懇談会打合せ
- 18日●議会運営委員会
- ●第6回臨時議会
- ●議会全員協議会
- ●上伊那広域連合議会運営委員会
- 19日●村道6号線の花壇作業
- 20日●大芝高原まつり
- 22日●伊那中央行政組合
- ●議会全員協議会
- 26日●上伊那広域連合議会・全員協議会
- 31日●議会運営委員会

9月
- 1日●まっくんファームコンバイン入魂式
- 6日●第3回定例議会開会
- 15～16日●議会連合審査会
- 12日●議会全員協議会
- 14～15日●第3回定例議会一般質問
- 16日●議会運営委員会
- ●第3回定例議会閉会
- 17日●南箕輪・南部小学校運動会
- 21日●伊那中央行政組合議会・施設視察
- 26日●リニア中央新幹線建設促進上伊那地区期成同盟会総会
- 27日●開発公社理事会
- ●社協役職員交流会
- 28日●北部議員懇談会
- 30日●県議長会政務部会
- ●南箕輪中学校若竹祭

10月
- 1日●南箕輪村巡回バス運行新体制出発式
- ●伊那中央病院病院祭
- 2日●南箕輪わくわくクラブ創立10周年記念式典
- 3日●上伊那郡市議会議員管内研修会
- 4日●議会報編集委員会
- 11日●議会全員協議会
- ●大清水川治水砂防促進同盟会
- ●上伊那郡副議長会
- 12日●区長会・議会懇談会
- 13日●諏訪圏工業メッセ視察
- 15日●森の交流施設オープンセレモニー
- 17日●伊那消防組合議会全員協議会
- ●議会報編集委員会
- 18～19日●上伊那広域連合視察研修
- 18日●福祉計画策定懇話会
- 20日●第21回暴力追放長野県民大会
- 23日●社協祭り
- 24～25日●全国議会広報研修会
- 25日●療育施設起工式
- 26日●県議長会第13回定期総会
- 28日●上伊那広域水道用水企業団議会

編集後記

早いもので2回目の議会を終えた。6月議会は右往左往しながらも先輩議員に議会のルール、慣習などを学びながら懸命に努めた。一度経験したことにより落ち着きを得、日々の議会活動に一定のリズムを持って臨めるようになった。

村からの配布物が多いのにはビックリ。また、それが重要な意味を持つものばかりで、選挙で選ばれた者の責任の重さを痛感している。南箕輪村民と公共の福祉の向上を目指し議員同士が切磋琢磨し、村理事者とたゆまぬ議論を重ね先人が築かれたこの良き村をさらに発展させ、住んでよかったと思える村にしなければならない。

議員になって感じたことは、行政情報の周知徹底の難しさであること。「議会だより」が村民と行政の架け橋となればありがたい。

副委員長　丸山　豊記